

# イヌエンジュ

*Maackia amurensis*

マメ科

## 名前の由来

中国産のエンジュ（槐）と比較して品がないことから、「イヌ（犬）」を付けたという。「エンジュ」は古名エニス（槐の種子）の転訛で、「エニス」は槐子の種子の呉音読み「エス」の転じたものだとする説がある。

一方、元もと本種イヌエンジュのことを古名で「エニス」と呼び、それが「エンジュ」となった。ところがその後、中国原産の「槐」の木をエンジュと呼ぶようになった。そして、この中国産のエンジュ（槐）と比較して品がないということから、本種の方に「イヌ（犬）」を付け、イヌエンジュとした、という説もある。漢字名：犬槐



イヌエンジュ。右下ー若葉は白っぽい

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ  
ウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（草原・樹林）  
鳥類  
ワシ・タカ

## 形態的特徴

高さ15m、太さ30cmになる落葉樹。葉は羽状複葉で複葉の長さが20～30cm、小葉は長さ4～8cmで卵形。複葉は互生。雌雄同株。花は総状花序で、黄白色。長さは約1cm。雌雄同花。果実は鞘に入っており、豆の形。

類似種との見分け方：ハリエンジュ（ニセアカシア）は、枝や幹にトゲがあり、葉先が丸いが、イヌエンジュにはトゲがなく、葉先が多少細くなる。



イヌエンジュの花。  
マメ科によくある蝶形花



イヌエンジュの実。  
サヤに入った豆果



イヌエンジュの葉。それぞれこれで一つの葉（羽状複葉）。丸っこいが葉先は少し細くなる



イヌエンジュの樹形。  
堅くガッシリした感じ



イヌエンジュの樹皮。  
老樹では浅く裂ける



上ーイヌエンジュの冬芽。短軟毛あり。下ーイヌエンジュの枝振り



イヌエンジュの葉の付き方

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期							■					

## 生育環境・分布

山地に生育。特に山腹斜面の平坦部。土性は壤土。適潤性～弱乾性。pHは耐酸・耐アルカリ性。通気性は中程度。土の締まりは、耐堅密性。陽性～中間性木。

**分布：**国外分布はシベリア東部、千島。国内分布は、北海道、本州中部以北。北海道内分布は、北海道全土。十勝地方生育状況は、全域。

## 繁殖生態・寿命

開花期は7～8月、種子成熟期は10月。鳥・動物によって種子散布される。寿命は不明。

## 他生物との関わり

コムシジやトラフシジミ幼虫の食樹。

シメやイカルがエンジュの種子を食べる例があるという。



コムシジ(左オス・右メス)。  
幼虫時、イヌエンジュを食樹とする

(標本-吉原利之氏所蔵)

## 植栽関係

繁殖方法／実生による。鞘から種子を取り出し、水に沈んだ種子をとりまきする。種子は低温で乾燥保存可能。取りまき後1～2年で発芽する。挿し木は難。種子の豊凶／10年で並作以上の年が3回以下。樹齢25年の木で、胸高直径

22cm、樹高8m、根系の最大深170cm、根系の直径3m以上。根回しによる発根性は良好。移植難易は易。切り株からの萌芽力は大。

## 興味深い話

■床柱、器具材、彫刻材、街路樹などに用いられる。

■エンジュに「延寿」の字を当てることがあり、これは難産の際この枝を握らせると安産するからだという。樞原神社では元日祭の折り、無病長寿の守り盃「延寿盃」や「延寿箸」が参拝者に授けられるという(イヌエンジュではない?)。

■アイヌ語では全道的に「チクペニ」という。

■アイヌ文化ではコタンでは風邪がはやったとき、この枝を戸口に立てた。強い異臭を放つエンジュによって、悪魔が逃げ出すと考えた。また、細枝にお湯をかけて、その煎じ汁を飲ませると病気によく効いたともいう。堅く重く耐用年数が20～30年もある上に木目が美しいことから、柱や墓標に用いられた。

■花のつぼみは、高血圧に効く「ルチン」を含む。

■春、葉が開くのが遅く、他の木の葉が出そろった頃にやっと白っぽい若葉が出てくる。



街路樹として植栽されたイヌエンジュ

## 配慮事項

樹齢25年の木で、胸高直径22cm、樹高8m、根系の最大深170cm、根系の直径3m以上。根回しによる発根性は良好。

移植難易は易。切り株からの萌芽力は大。

### 参考文献

「新装版樹木根系図説」 菊住 昇 誠文堂新光社 1987

「図説花と樹の大事典」 木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996

「北海道 樹木図鑑」 佐藤孝夫 亜瑠西社 1990

「花と樹の大事典」 木村陽二郎監修 柏書房 1996

「広葉樹林育成マニュアル」 北海道林業試験場監修 北海道林業改良普及協会 2000

「改訂増補 牧野新日本植物圖鑑」 牧野富太郎 著 小野 他編集 北隆館 1989

「北海道主要樹木図譜」 宮部金吾・工藤祐舜 北大図書刊行会 1986

「北見の蝶」 木村辰正 北見市教育委員会 1994

「アイヌ植物誌」 福岡イト子 草風館 1995

「種子分散(助け合いの進化論1) 鳥が運ぶ種子」 上田恵介 築地書館 1999

「知里真志保著作集 別巻I 植物編・動物編」 知里真志保、平凡社、1976

広葉樹の実生繁殖 久保田泰則 光珠内季報40 p:16～p:26 1979

広葉樹のタネの豊凶 水井憲雄 北方林業46 p:117～p:120 1993

イヌエンジュ林の仕立て方と育苗 鈴木悌司 山林1213 p:16～p:21 1985

魚類

底生動物

爬虫類  
両生類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(鳥辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ